

令和7年度
新潟県病虫害発生予察速報第8号
(セイヨウナシ褐色斑点病の発生状況)

1 発生状況

- (1) 6月後半の発病葉率が県全体で平年比多くなったため、令和7年7月2日付けで注意報第1号を発表した。
- (2) 7月以降も多発生が続き、8月後半には甚発生園地も確認されている(下表、写真)。

表 セイヨウナシ褐色斑点病の発病葉率(%)の推移

		調査地点数		7月前半	7月後半	8月前半	8月後半
県全体		5	本年	3.7	12.5	14.5	32.8
			前年	2.3	5.3	7.8	20.5
			平年	1.7	2.4	2.7	4.5
			平年比	多	多	多	多
地域	新潟地域	1	本年	3.5	19.5	12.8	18.8
			前年	0.0	6.9	5.6	10.5
			平年	0.4	1.5	1.0	2.1
			平年比	多	多	多	多
	中越地域	3	本年	3.0	13.6	18.4	46.5
			前年	4.6	6.1	11.6	32.6
			平年	2.4	3.1	4.6	6.5
			平年比	並	多	多	多
	佐渡地域	1	本年	6.1	1.9	4.2	5.8
			前年	0.0	2.2	2.5	6.2
			平年	2.8	0.8	1.0	2.9
			平年比	やや多	やや多	多	やや多

2 今後の対応

- (1) 発病葉・果実は、摘み取って園外に持ち出して埋めるなど、耕種的防除を実施する。
- (2) 薬剤防除は散布間隔が空きすぎないように留意する。
- (3) 降雨が続くと予想される場合は、降雨前の薬剤散布を実施する。
- (4) 薬剤散布にあたっては、事前に新梢管理を行うとともに、薬量を増やし、スピードスプレーヤー走行間隔をつめたり縦横に走行するなど、防除の死角をつくらないように注意する。また、片がけなどの死角になりやすい場所については補助散布を実施する。



写真 発病葉

画像提供：新潟県農林水産部経営普及課